

徳川家康公顕彰400年記念事業静岡部会

家康公
顕彰
400年

天下治めた人生 ジャズに

静岡で演奏会 鷹狩りテーマに講演も



家康の人生を表現したジャズ組曲を演奏する「守屋純子オーケストラ」＝29日午後、静岡市葵区の市民文化会館

などが主催するコンサートと講演会が29日、静岡市葵区の市民文化会館で開かれた。約400人が訪れた。



家康と鷹狩りの関わりを解説する二本松康宏教授

ジャズピアニストの守屋純子さんが家康の人生をイメージして作ったジャズ組曲「厭離穢土(おんりえど)、欣求浄土(ごんぐじょう)」を、守屋さん率いるオーケストラが披露した。天下を統一した家康の明るく華やかなイメージを描いた「表家康公」などが演奏されると、会場からは大きな拍手が送られた。「家康公と鷹狩」をテーマにした講演会は、講師の二本松康宏は、静岡文化芸術大准教授が「鷹狩りは元来天皇だけが行えるもので、権力の象徴とされていた」と紹介。家康が好んだとされる鷹狩りは、天皇に代わって権力を行使する象徴だったと指摘した。